

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ベトナム】

- ◆2018年11月21日（水）～11月23日（金）
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ工業大学（HaUI）
- ◆旋盤2級・フライス盤2級 技能評価技法（SEM）

2018年11月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2018年11月21日(水)～23日(金)
(実施場所) ベトナム社会主義共和国・ハノイ市
ハノイ工業大学 (HaUI)
(職種) 旋盤2級・フライス盤2級 技能評価技法 (SEM)
(講師) 稲川 文夫氏 (SESPP事務局 技術顧問)
(参加者数) 受講者6名

(実施日程)

日時	活動名 (指導内容)
11月21日(水) 08:30～16:30	【技能評価技法】 旋盤2級学科試験問題 (四肢択一法) の作成指導
11月22日(木) 08:30～16:30	【技能評価技法】 旋盤2級学科試験問題 (四肢択一法) の作成指導
11月23日(金) -8:30～16:30	【技能評価技法】 フライス盤2級学科試験問題 (四肢択一法) の作成指導

2. 講評

◆ 総評

- 7月、9月及び今回の技能評価技法 (問題作成ワークショップ) で旋盤2級及びフライス盤2級の真偽法及び四肢択一法の問題集が完成した。

この問題集を使って、旋盤で5回分、フライス盤で3回分の技能検定試験の問題が準備できる。また、全問題の3割 (真偽法及び四肢択一法とも25問中7問) を重複して使用すれば、準備できる回数を大きく増やすことができる。

将来、これをベースにして問題改定を行い、問題数を増やせばより使い勝手のよい問題集になることが期待できる。3回のワークショップを通して、参加者に学科試験問題作成能力が付与でき、試験問題の改定作業において大きな力となることが期待できる。

- 完成した学科試験問題集を DVET に引き渡す際に、ワークショップで問題を作成した参加者及び日本の貢献に対して Phong 部長から大きな謝意が表明された。

また、ベトナムで試行して、ベトナムの現状を分析し、さらに良いものにしていくという決意も示された。

旋盤職種は、既にベトナムの技能検定に採用され、実施されている。今後、ベトナムにおいて日本の2級、1級が、彼等の手で自主的に展開されることを期待する。また、日本的技能検定の普及・

拡大をはかるためには、JICA プロジェクト・フェーズ 4 において、学科試験問題が未整備の職種における学科試験問題作成支援、旋盤、フライス盤職種の 1 級レベルの技能検定の推進等を含めた協力が欠かせないと思われる。

3. 受講者へのアンケート結果

◆ 受講者 6 名（回答者 6 名）

満足度： 大変満足=6 人	満足度	100%
役立ち度： 大変役立つ=6 人	役立ち度	100%
継続性： 是非継続すべき=6 人	継続希望度	100%

【最も意義深いプログラムはなんでしたか】

- ・すべての内容が有意義だった。(4 人)
- ・試験問題範囲と課題作成方法
- ・労働安全衛生

【次年度の改善に向けた提案】

- ・時間を延ばしてほしい。(6 人)
- ・日本でのスタディーツアーを設けてほしい。
- ・日本又は日系企業で体験させてほしい。(2 人)
- ・現場での体験をしたい。(2 人)

【技能評価技法として今後実施してほしい職種／コメント】

- ・CNC 職種 (2 人)、CNC1 級
- ・旋盤・フライス盤 1 級 (2 人)
- ・研削盤職種

以上